

高根白山神社

五穀豊穰、豊漁、縁結びの神



水枯れを知らぬ泉の「神水」が志太平野を潤す

標高 871m の高根山中腹に位置する高根白山神社は、文治 4 年に石川県から勧請してこの地に祀られました。神社の両側に水枯れを知らぬ泉があり、この神水が瀬戸川となって志太平野を潤し駿河湾に注いでいます。地域の農業を支える水の恵みに感謝し、流域から篤く信仰されてきました。



山里で継承される古代神楽

毎年 10 月 29 日には例祭が行われ、収穫に感謝して神楽が奉納されます。この神楽は江戸時代後期から伝えられ、静岡県指定無形民俗文化財、国の記録選択文化財にもなっています。さまざまな舞で構成される郷土芸能を受け継いでいるのは、蔵田集落に住むお茶の生産者です。

蔵田 散策 MAP

蔵田茶の魅力

清らかな源流に育まれた蔵田茶



写真提供：きむらやすみ

美しい茶産地で生まれる 香り高い山のお茶

藤枝市の高根山は、志太平野で最も降水量の多い場所。蔵田茶産地は、その中腹、標高 400 ~ 700m に立地しています。肥沃で水はけの良い土壌と、昼夜の寒暖差が大きい山間地の気象や地形を生かし、ほどよい渋みと苦味を備えた香り高いお茶を生産しています。



写真提供：きむらやすみ

古くから茶流通の集散地として栄えてきた藤枝市において、高い品質をリードしてきたのが蔵田茶です。決して効率が良いとは言えない山間地で続けてきた、品質を追求するお茶づくりによって美しい山村の景観が形づくられてきました。

毎年 6 月には、この蔵田の茶園で、身近な人に想いを伝えるイベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ（通称：チャバチュー）」が行われます。



茶づくりの山里 蔵田集落

住民 118 人、45 世帯（平成 29 年 1 月現在）からなる小さな山の村、蔵田は、住む人の多くが茶の栽培・製造に携わっています。この土地で受け継いだ栽培技術と確かな製造技術を基礎として、安全・安心な美味しいお茶づくりを志し、有機栽培にも取り組んでいます。

藤枝市瀬戸谷地区 蔵田・大久保集落

発行：ふじえだ茶・観光デザインプロジェクト
事務局 藤枝市お茶のまち推進室 電話 054-643-3266
平成 29 年 3 月発行